

令和4年度 第1回港南区協働による地域づくり推進協議会 開催報告

日時	令和4年9月29日（木）午前10時から正午まで
場所	港南区役所5階 特別会議室
出席者	古屋会長、杉山副会長、若林委員、石川（正二）委員、小室委員、穂永委員、石川（彰子）委員、小館委員、塩田委員、小松委員、本間委員、稲村委員、須田委員、栗原委員
議題	1. 協働による地域づくりについて（講師による事例紹介及び意見交換） 2. その他

【協働による地域づくり推進協議会の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所と一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成26年度から設置しています。

◆内容

講師内海氏のお話【企業・事業者と地域との協働について】



横浜市が策定した「協働推進の基本指針」に、協働の定義「公共的サービスを担う異なる主体が、地域課題や社会的な課題を解決するために、相乗効果をあげながら、新たな仕組みや事業を創り出したり、取り組むこと」と、協働の6原則「対等、自主性尊重、自立化、相互理解、目的共有、公開」を定めています。

多くの企業は地域の構成員として社会貢献したいと思っています。地域だけでは解決できない課題の中には、企業が有する専門性を活用することで解決につながる場合があります。（3つの事例を紹介）企業との協働は出来ることから少しずつ実績を積み上げていき、それを発信していくと、思いもよらない協働が生まれる可能性があります。

◆委員からの意見、感想【意見交換】（抜粋）

- 何か活動するにしても、旗を振る人がいないと始まらない。
⇒そういう人を探すことが非常に大事だが、一人で全部やるのは至難の業。コーディネート役を果たせる人の力が大きいと思う。
- まずは人が集まって、どういうことをやれば良いのか話し合うことが大事。話し合いの中で「これならできる」と進んでいく。
- 基本的なつながりがあれば、誰かが何かやりたいときに色々なアイデア等を話し合いができていくのではと思う。

- 趣味や娯楽を超えた、地域に貢献するメンバーを作っていきたい。退任した民生委員など、港南区で貴重な経験をされた方に力を貸してほしい。
- 高齢者ばかり気にしていたが、自身が活動する中で子育て中の親や大学生など若い人も悩みをどこに相談したら良いかわからない人が多いことが分かってきた。若い人と話す場を設け、何か地域で出来ることを提供したい。
- 子どもを行事等で呼ぶと親もついてきて、地域への理解を深めてもらえる。そういう取組を続けていきたい。
- コロナで企業も大変だが、貢献しようという気持ちはある。災害時の協力などを話し合っていきたい。
- 次に進めるには、やっていることをみんなに知ってもらう必要がある。お互いが知り合い、つながって、活動が広がっていく。
- 地域の人は何に困っているのかを知り、自分たちならこんなことができるのでは、というようにつながっていったら良い。

◆まとめ 古屋会長



今日は色々なお話や具体的な事例を聞かせていただき、大変参考になったことと思います。

今後、さらに企業等とも連携しながら、協働による地域づくりに皆さんで取り組めたら良いと思います。

当日の様子

